

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公表番号】特表2018-519964(P2018-519964A)

【公表日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-028

【出願番号】特願2018-502651(P2018-502651)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/14

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月5日(2019.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラジオ部を有すると共に、超音波プローブ制御信号を受信する無線超音波プローブと、
ラジオ部を有し、前記無線超音波プローブに超音波プローブ制御信号を送信するプロセ
ッサと、

前記プロセッサと結合されると共に、該プロセッサにより発生された
超音波画像を表示する表示器と、

を有する、超音波システムにおいて、

前記無線超音波プローブは更に、前記超音波プローブ制御信号に基づいた超音波画像走
査ラインデータを送信し、

前記プロセッサは、オペレーティングシステム及び超音波システム制御プログ
ラムを実行する、デジタルプロセッサを有し、更に、撮像手順のためのユーザインターフ
ェースコマンドを受信し、前記無線超音波プローブから画像ラインデータ信号を受信し、
受信された画像ラインデータ信号の画像処理を実行して表示のための超音波画像を発生す
ることを特徴とする、
超音波システム。

【請求項 2】

前記プロセッサが前記表示器の H D M I（登録商標）ポートに着脱可能に結合
される H D M I（登録商標）コネクタを更に有する、請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 3】

前記ラジオ部が超広帯域（U W B）ラジオ部を有し、前記プロセッサが入力ポ
ートを更に有し、当該超音波システムが該入力ポートにプラグ接続される U W B ドングル
を更に有する、請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 4】

前記プロセッサのラジオ部が Wi-Fi（登録商標）ラジオ部を有し、

前記表示器が Wi-Fi（登録商標）ラジオ部を更に有し、

前記表示器が該 Wi-Fi（登録商標）ラジオ部を用いて前記プロセッサと結合さ
れる、

請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 5】

前記プロセッサドングルに接続されると共に、a.c.コンセントにプラグ接続された場合に該プロセッサドングルに給電するa.c.アダプタを更に有し、

前記プロセッサドングルは、超音波情報を含むデータ伝送のためにケーブルを前記無線超音波プローブに接続するポートを更に有し、

前記表示器が、ラジオ部を更に有すると共に、該ラジオ部を用いて前記プロセッサドングルに結合される、

請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 6】

前記表示器が、患者モニタを更に有する、請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 7】

Wi-Fi（登録商標）ラジオ部を備えるタブレットコンピュータを更に有し、

前記プロセッサドングルのラジオ部がWi-Fi（登録商標）ラジオ部を更に有し、

前記タブレットコンピュータが前記プロセッサドングルにより発生された超音波画像を表示する、

請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 8】

前記タブレットコンピュータが、当該超音波システムを制御するためにユーザにより操作されるユーザインターフェース制御子を更に表示する、請求項 7 に記載の超音波システム。

【請求項 9】

前記プロセッサドングルにより発生された超音波画像を受信するラジオ部を有すると共に該超音波画像を超音波表示部に表示するタブレットコンピュータを更に有し、ユーザ入力に応答して、更に、前記超音波画像を前記表示器、前記タブレットコンピュータ又はこれら両方に表示させる、請求項 1 に記載の超音波システム。

【請求項 10】

前記超音波表示部が、超音波検査を制御する複数の制御釦を更に有する、請求項 9 に記載の超音波システム。

【請求項 11】

前記タブレットコンピュータがタッチスクリーン表示器を更に有する、請求項 10 に記載の超音波システム。

【請求項 12】

超音波プローブと、

前記超音波プローブに超音波プローブ制御信号を送信するプロセッサドングルと、

前記プロセッサドングルに結合されると共に、該プロセッサドングルにより発生された超音波画像を表示する表示器と、

を有する、超音波システムにおいて、

前記超音波プローブは、超音波プローブ制御信号を受信すると共に該超音波プローブ制御信号に基づいた超音波画像走査ラインデータを送信するプローブケーブルを有し、

前記プロセッサドングルは、前記プローブケーブルが接続されるポート、並びに、オペレーティングシステム及び超音波システム制御プログラムを実行する、デジタルプロセッサを有し、更に、撮像手順のためのユーザインターフェースコマンドを受信し、前記超音波プローブから画像ラインデータ信号を受信し、受信された画像ラインデータ信号の画像処理を実行して表示のための超音波画像を発生することを特徴とする、超音波システム。

【請求項 13】

前記プロセッサドングルはラジオ部を更に有し、

前記表示器はラジオ部を更に有し、

前記表示器は前記ラジオ部により前記プロセッサドングルに結合される、

請求項 12 に記載の超音波システム。

【請求項 14】

前記プロセッサドングルはコネクタを更に有し、

前記表示器はデータポートを更に有し、
前記プロセッサ単体の前記コネクタが前記データポートに結合される、
請求項 12 に記載の超音波システム。

【請求項 15】

前記無線超音波プローブは該無線超音波プローブの動きに応答して信号を発生するモーションセンサを更に有し、
前記プロセッサ単体が、該無線超音波プローブの動きに応答して発生された信号に応答して当該超音波システムの動作を制御する、
請求項 1 に記載の超音波システム。

专利名称(译)	带处理器加密狗的超声系统		
公开(公告)号	JP2018519964A5	公开(公告)日	2019-04-18
申请号	JP2018502651	申请日	2016-07-01
[标]申请(专利权)人(译)	皇家飞利浦电子股份有限公司		
申请(专利权)人(译)	皇家飞利浦NV哥德堡		
当前申请(专利权)人(译)	皇家飞利浦NV哥德堡		
[标]发明人	ポーランドマッキードゥーン		
发明人	ポーランド マッキー ドゥーン		
IPC分类号	A61B8/14		
CPC分类号	A61B8/4411 A61B8/4427 A61B8/4472 A61B8/56 G01S7/5208 G01S7/52082 G01S7/52084 A61B8/461 A61B8/467 A61B8/54		
FI分类号	A61B8/14		
F-TERM分类号	4C601/EE12 4C601/EE24 4C601/GA18 4C601/GA24 4C601/GB18 4C601/GD04 4C601/KK45 4C601/LL26		
优先权	62/194907 2015-07-21 US		
其他公开文献	JP2018519964A		

摘要(译)

高度便携式的超声系统包括无线超声探头10，无线电加密狗，具有执行操作系统和超声控制程序的数字处理器的处理器加密狗30，以及任何方便的电视接收器或 使用显示监视器进行配置。超声医师只需携带一个小型无线探头和一个类似拇指驱动器的加密狗，即可与任何可用的显示设备以及由超声医师携带的那两个部件一起正常工作。可以转换成超声系统。超声检查者可以进入患者房间，将处理器加密狗连接到房间中的患者监护仪，然后执行超声检查（例如，使用患者监护仪作为系统指示器）。该系统可以通过触摸屏平板电脑，无线鼠标或探针做出的明确手势来控制。